

11 相定申相談証文之事（御蔵入の分この度分郷にて御知行に渡すにつき諸事相談し鬮取で決める旨）

享保七年九月二十四日

【解読文】

相定申相談証文之事

一 当村御蔵入之分此度又候御分郷ニ而御知行ニ相渡申候依之今日大小百性入部百性迄不殘寄合
諸事相談之上鬮取ニ而相究申候事
一 御分郷綾辺川島ニヶ所与別り鬮取ニ致高
過不足之義ハ其向寄之百性ニて御差引被成候様
相定申候事

右之通り此度御分郷ニ付今日寄合惣百姓相談之上右之通ニ相定則鬮取ニ仕候然ル上ハ分ヶ相ニ付已後相違之儀堅申出間敷候尤仲間ニて出入ヶ間敷義一切申出間敷候為後日惣百姓定之連判証文仍而如件

享保七年丑九月廿四日

名主 中
年寄

清十郎 印
小兵衛 印
甚五兵衛
弥五郎 印
五右衛門 印
平八 印
由右衛門 印
兵右衛門 印
入部市郎左衛門 印
〃 喜左衛門 印
又右衛門 印
久兵衛 印
作右衛門 印
伝左衛門 印
甚左衛門 印
南蔵院
印形失候ニ付
無加印

武兵衛印
弥兵衛印
入部次郎右衛門印
竹右衛門印
加兵衛印
作兵衛印
左五兵衛印
亦左衛門印
弥左衛門印
太兵衛印
治兵衛印
由左衛門印
惣右衛門印